

科目名	産業創造セミナー		英文表記	Industry Creation Seminar	2017/3/17		
科目コード	3101						
教員名: 山城光、富澤淳 技術職員名:					作成		
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
機械システム工学科	3年	必	履修	1単位	講義	後期	
科目目標 【MCC目標】	産業や仕事に関心を持ち、自分の進路に関して考えるきっかけをつかみ、 基礎的なビジネス関連用語を理解するとともに簡単な事業計画書を作成し、 社会の仕組みを考えることができることを目標とする。 【VII-B】、【VII-C】、【VIII】、【IX】						
総合評価	定期試験とレポートにより評価する						
科目達成度目標	目標割合	科目達成度目標	達成度目標の 評価方法	ルーブリック			
				理想的な 到達レベル(優)	標準的な 到達レベル(良)	最低限必要な 到達レベル(可)	セルフ チェック
	50%	① 産業や仕事に関心を持ち、自分の進路に関して考えるきっかけをつかむ。	正しく説明できるかレポートで評価する	産業や仕事に関心を持ち、自分の進路に関して具体的に考えることができる。	産業や仕事に関心を持ち、自分の進路に関して具体的に考えることができる。	産業や仕事に関心を持つ。	
	25%	② 基礎的なビジネス関連用語を理解し、社会の仕組みを考えることができる。	試験により評価する	基礎的なビジネス関連用語を確認し、実際の社会の仕組みの概念を具体的に考えることができる。	基礎的なビジネス関連用語を確認し、実際の社会の仕組みの概念を具体的に考えることができる。	基礎的なビジネス関連用語を確認できる。	
25%	③ 簡単な事業計画書を作成できる。	起業企画書を作成し正しく発表できるかプレゼンテーションと資料で評価する。	簡単な起業計画書の作成において、自分の意見を積極的に言うことができ、他人の異なる意見をまとめながら、グループの計画としてまとめ、発表することができる。	簡単な起業計画書の作成において、自分の意見を積極的に言うことができ、他人の異なる意見を聞くことができる。	簡単な起業計画書の作成において、自分の意見を言える。		
本科・専攻科 教育目標	1	2	3	4	<本科教育目標> (2) 創造性を備え、自らの考え方を表現できる人材を育成する		
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(補習課題・発表・実技・成果物)	総合評価	セルフチェック
評価項目		40	0	30	30	100	
基礎的理解	①②③	20		10	10	40	
応用力(実践・専門・融合)	②③	5		5	5	15	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	③	10		10	10	30	
主体的・継続的学修意欲	①②③	5		5	5	15	
授業概要、 方針、履修 上の注意	起業家による講演で創業の経緯と経営課題、経営学分野の非常勤講師による講義を通じてビジネス関連基礎知識を学び、参考資料とサンプルに基づいてグループ単位で事業計画書を作成する。						
教科書・ 教材	配布資料を予定						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1	ガイダンス	2	目標・授業概要および進め方を説明する(講義)		
2	ビジネスの基礎(1)	2	ビジネスの基礎(内容調整中)		
3	ビジネス基礎(2)	2	ビジネスの基礎(内容調整中)		
4	ビジネス基礎(3)	2	ビジネスの基礎(内容調整中)		
5	ビジネス基礎(4)	2	ビジネスの基礎(内容調整中)		
6	ビジネス基礎(5)	2	ビジネスの基礎(内容調整中)		
7	ビジネス基礎(6)	2	ビジネスの基礎(内容調整中)		
8	前期中間試験(行事予定で週変更可)	2			
9	事業計画(1)	2	企業と起業について(講義)		
10	事業計画(2)	2	企画立案(実習)		
11	事業計画(3)	2	企画立案(実習)		
12	事業計画(4)	2	企画立案(実習)		
13	事業計画(5)	2	発表・ディスカッション		
14	事業計画(6)	2	発表・ディスカッション		
15	授業総括	2	(講義)		
期末	期末試験	[2]			
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末					
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間	
①					
②					
③					
備考欄					
(各科目個別記述) ・ この科目の主たる関連科目は、沖縄高専セミナー(1年・前期)、創造演習(2年・通年)である (モデルコアカリキュラム) ・ 対応するモデルコアカリキュラム(MCC)の学習到達目標、学習内容およびその到達目標を【】内の記号・番号で示す。					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)